



# 山桜

高階西中だより 新入生保護者会特別号  
平成28年 1月28日

川越市立高階西中学校

## 「子供たち一人一人の能力と可能性を開花させる教育」を推進します

～将来の世の中を支える「人財」を育てていきます～

校長 長井 正邦

子供たち一人一人には、様々な能力と可能性があります。

その能力と可能性を開花させること、そのことを最優先に考えて本校ではあらゆる環境を整えてまいります。

中学生という時期は、小学校で培った基礎の上に「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む大切な時期です。とは言え、子供たち一人一人の成長に目を向けてみると、その伸びる時期やスピードは様々な状況にあります。大切なことは、「他人と比べて伸びる時期が早いか遅いか」や「他人と比べて伸びるスピードが速いか遅いか」ということではありません。子供たち一人一人が自分らしく自分なりに全力で成長していこうとする姿こそが大切なのです。「昨日の自分より今日の自分を、今日の自分より明日の自分を成長させたい」という意欲を持つ子供たちを育てることを本校の使命（指導の方針）としております。

一方、これからの世の中は、どんどん変化していきます。新一年生の子供たちが、高階地区・川越市・埼玉県・日本を支える頃は、どんな世の中になっているのでしょうか。2030年以降の世の中の姿を考えた時、子供たちにどのような資質や能力を育てたらよいのでしょうか。本校では、いつの世においても変わらない大事なものはしっかり指導するとともに、将来の社会の変化や時代の要請もしっかりと見据えて子供たちを育てていきます。

子供たちは、「宝」です。かけがえのない存在であり、将来の「人財」です。「人材」ではなく「人財」です。本校教職員は、子供たち一人一人のよさをほめて、認めて、励ましていく指導を実践し、自分に自信を持った子供たちが、自分をさらに伸ばし、自分のよさを活かしていける「人財」として輝けるような教育を推進してまいります。

学校教育目標の「自ら考え 行動する生徒」の育成を目指し、家庭・地域等の皆様の御理解御協力をいただきながら、子供たちを育んでいきたいと考えています。よろしくお願い申し上げます。

### 自分の一歩

いまわたしの踏みしめる一歩は  
だれか他の人の一歩ではない  
わたしの足が地上に刻む一歩は  
いつでも わたし自身の一歩なのだ

他の人より一歩先を歩くからといって  
他の人より優れているとは限らない  
他の人より一歩後を歩くからといって  
他の人より劣っているとは限らない

自分の目標を定めて歩きだしたのだから  
自分の一歩をしっかりと信じて進もう  
——その決意が 最後まで歩く力を生む

出発点には「へ人生」など まだない  
到達点こそ わが「へ人生」はあるのだ  
歩きつづけ生き抜いた尊い証明として

宮澤章二（みやざわ しょうじ）  
埼玉直出身の詩人



↑ 三年生の生徒が  
描いてくれた  
校長の似顔絵です。

学校教育目標  
自ら考え  
行動する生徒